

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】

(H26.5.31現在)

	5月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	5件	8件	0人	2人
平成25年度(昨年度)	3件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「5月発生件数」は、5/1～5/31の間に起きた件数。(月毎分)

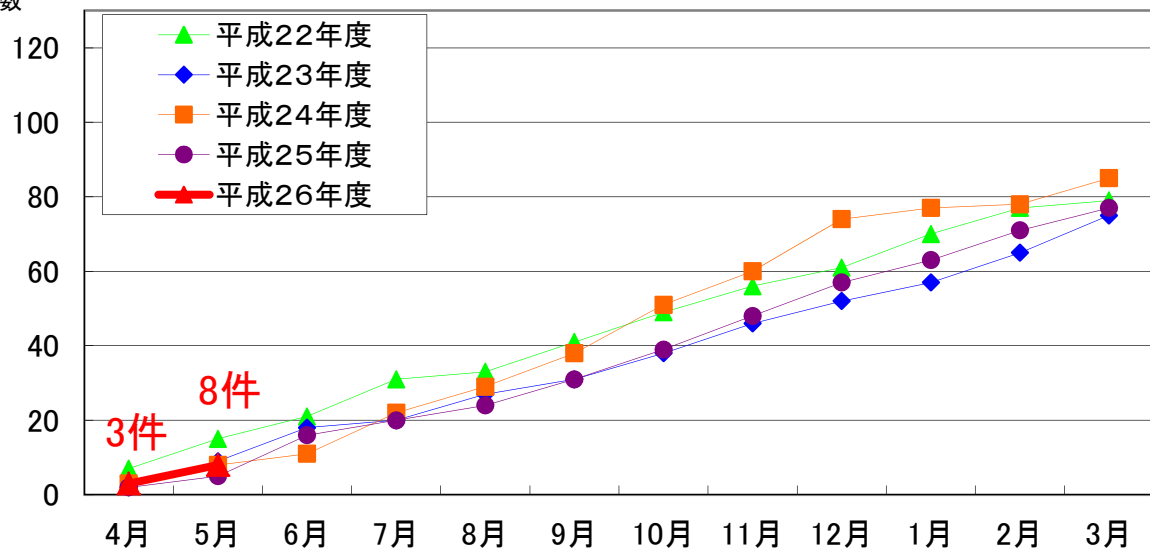
注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事務件数

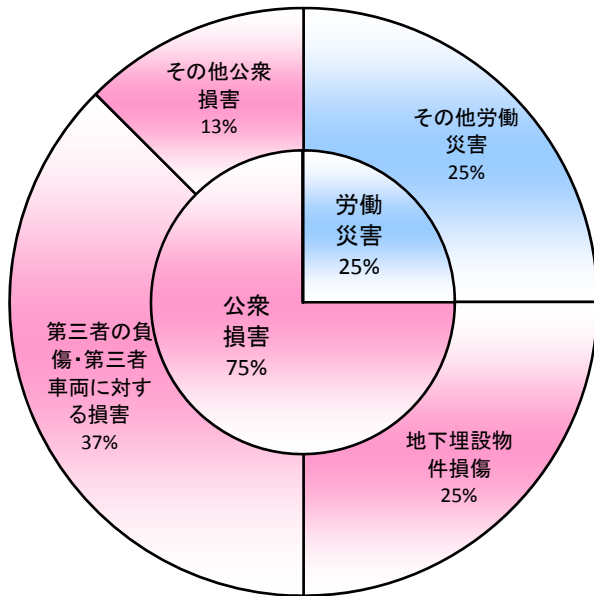
件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)										

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

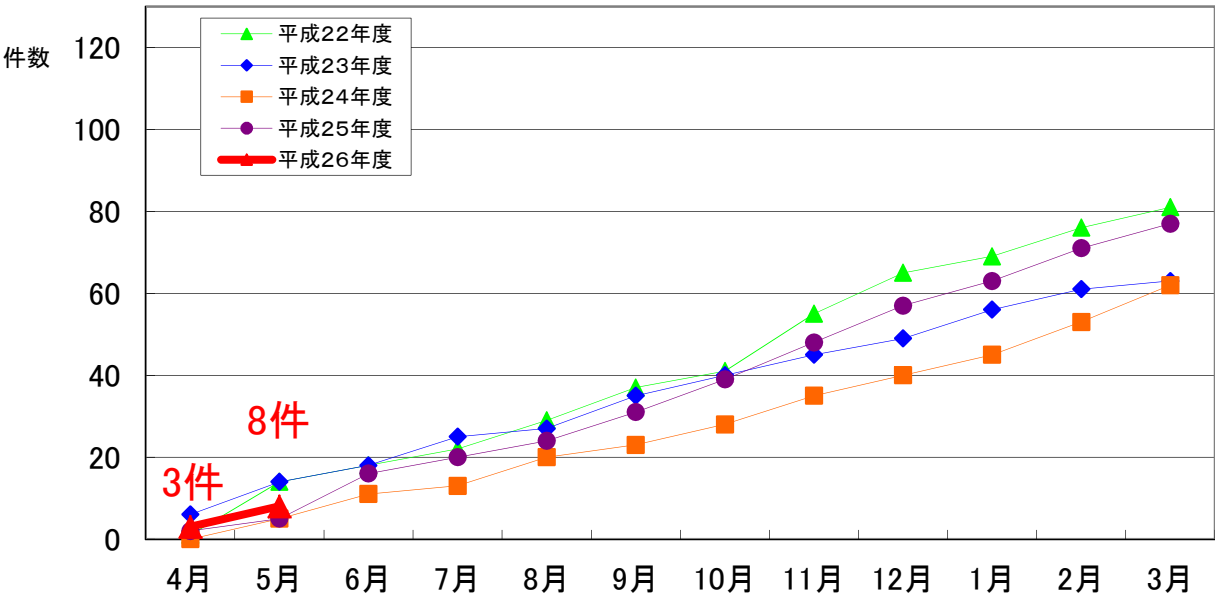
●平成26年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H24	H25	H26	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	7	6	0	13
	部材の加工作業等により自らを負傷	0	4	0	4
	資機材等の落下や下敷きで負傷	9	6	0	15
	墜落	5	6	0	11
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	1	0	1
	その他労働災害	6	6	2	14
小計		14	29	2	45
公衆損害	架空線・標識等損傷	10	5	0	15
	地下埋設物件損傷	7	12	2	21
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	19	17	3	39
	その他公衆損害	19	10	1	30
	小計	55	44	6	105
その他事故		3	4	0	7
計		72	77	8	157

…H26年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

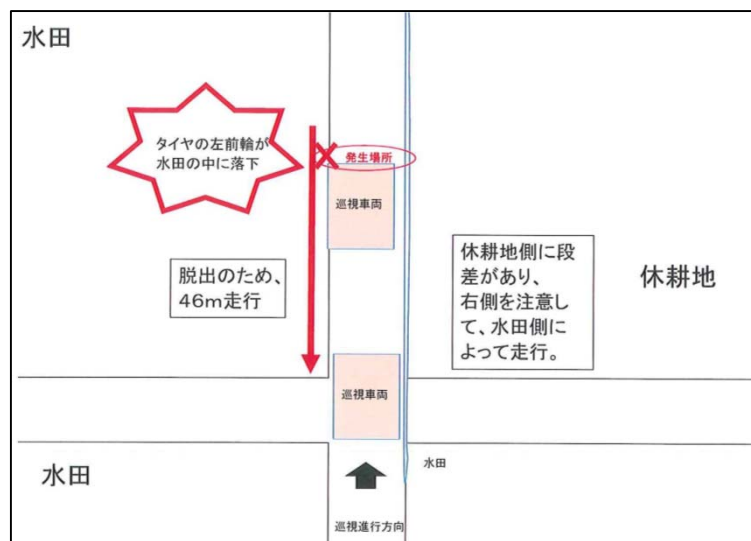


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計(月毎)	6件(6件)	14件(8件)	18件(4件)	25件(7件)	27件(2件)	35件(8件)	40件(5件)	45件(5件)	49件(4件)	56件(7件)	61件(5件)	63件(2件)
平成23年度 累計(月毎)	0件(0件)	5件(5件)	11件(6件)	13件(2件)	20件(7件)	23件(3件)	28件(5件)	35件(7件)	40件(5件)	45件(5件)	53件(8件)	62件(9件)
平成24年度 累計(月毎)	2件(2件)	6件(4件)	8件(2件)	18件(10件)	23件(5件)	31件(8件)	42件(11件)	50件(8件)	63件(13件)	66件(3件)	67件(1件)	74件(7件)
平成25年度 累計(月毎)	2件(2件)	5件(3件)	16件(11件)	20件(4件)	24件(4件)	31件(7件)	39件(8件)	48件(9件)	57件(9件)	63件(6件)	71件(8件)	77件(6件)
平成26年度 累計(月毎)	3件(3件)	8件(5件)										

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 26 年 5 月 21 日 (水) 11 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	－	－	－	水田損傷
事故概要	水田に面した高水敷内道路を巡視中、脱輪し、水田内にタイヤ跡をつけ、苗を損傷させたもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損傷			

事故発生状況



・降雨の中、一般巡視のため農道を走行中、右側路肩に雑草が繁茂しているため、右側に注意を傾注しすぎ、路肩のない箇所では左前輪を水田に脱輪した。脱出のため水田内で前進後進を繰り返したが脱出出来ず、前方には揚水施設があるので後方の農道を利用して脱出した結果、水田を約1m幅で46mの長さにわたり水田を損傷した。



【事故発生原因】

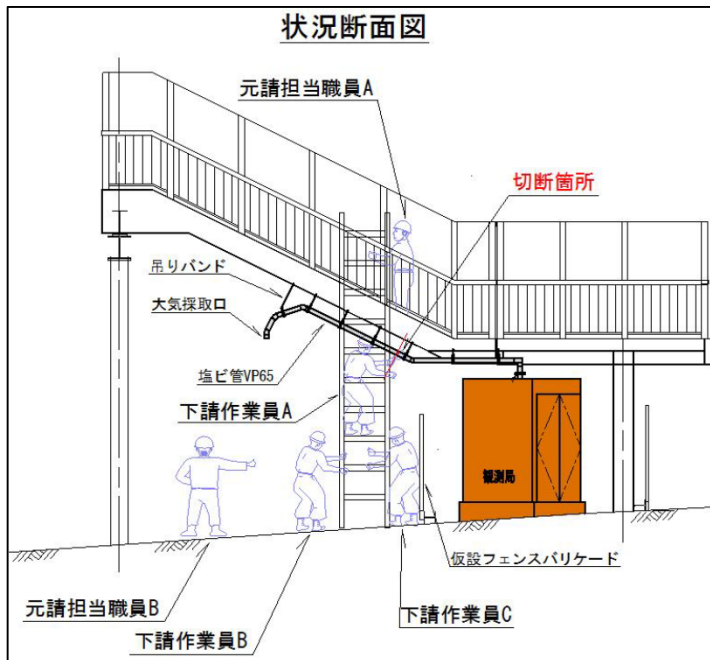
- ・運転手の右側確認不足など

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底
- ・周辺確認の徹底など

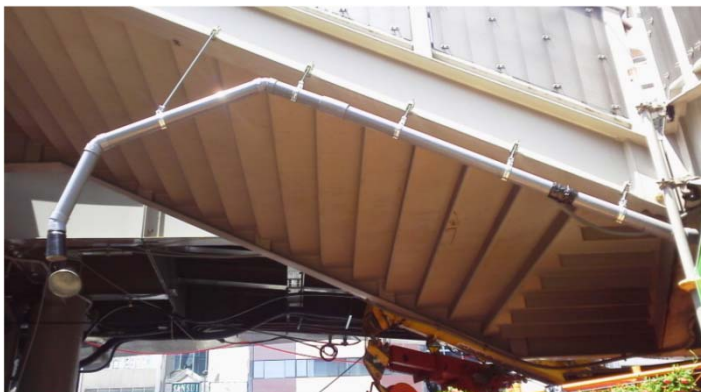
発生日時	平成 26 年 5 月 22 日 (木) 5 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	大気観測局用の採気管損傷
事故概要	工事の支障となる大気観測局の採気管の付け替え作業を実施しており、塩ビ管を切断したところ、塩ビ管の中に入っていたSPMとNO2の採気管ごと切断してしまったもの。 公衆損害—その他公衆損害			

事故発生状況



・大気観測局の採気管が、次工程の土留杭を施工するにあたり支障となるため、塩ビ管を切断したところ、管内に設置されていた観測用配管を切断した。

・大気観測局の採気管の移設について、当該施設の役割は認識していたものの、簡易な構造(塩ビ管のみ)と思い込み、短時間作業であれば観測データへの影響がないと考え、監督職員への報告等や関係部署及び大気観測業者との調整を怠ってしまった。



【事故発生原因】

・採気管の事前確認不足
など

【事故防止のポイント】

・作業前に支障物に関する確認をしっかりと行い、疑義がある場合は監督職員や管理者に確認を行う。
など

発生日時	平成 26 年 5 月 24 日 (土) 15 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	45	作業員	右足腓骨骨折(全治2ヶ月)
事故概要	ベルトコンベア設置作業中、ロール状のベルト(1巻2.2t)を運搬しようとクレーンで吊り上げたところ、吊り金具から荷がはずれ、近くにいた作業員に荷が接触し、負傷したもの。 労働災害—その他労働災害			

事故発生状況



・ベルトコンベア設置作業時にロール状に巻かれたベルト(2.2t/本)を25tクレーンにて運搬車両へ積み込み作業中、荷を地切りした(10cm)際に荷がバランスを崩し倒れ、近くにいた作業員の右足に接触し被災した。

・実際に吊っていた方法は作業手順書と異なる方法であった。(作業手順書上は、ワイヤーのみで袋掛けをするようになっていたが、実際の作業は単管パイプを使用して吊り作業を行っていた。)

【事故発生原因】

- ・作業手順書の周知徹底不足など

【事故防止のポイント】

- ・作業手順や役割分担等について、周知徹底を行う。など

発生日時	平成 26 年 5 月 27 日 (火) 7 時 20 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	第三者車両(2台)損傷
事故概要	道路建設工事に伴い、雨水管を埋設し、アスファルト舗装をかけたが、舗装が陥没し、そこを通行した第三者の車両が2台損傷したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損傷			

事故発生状況



・道路建設工事に伴い、道路建設予定地を横断していた市道の切り回しを実施し、切り回した道路の下に雨水管を埋設して、アスファルト舗装をかぶせた。

・雨水管埋設部のアスファルト舗装が陥没し、そこを通行した第三者の車両が2台損傷した。

・地上のU型側溝と埋設管の接続部分から雨水が浸透し、アスファルト舗装下の土砂が流れたと考えられる。

【事故発生原因】

・雨水管埋設の施工管理不足
など

【事故防止のポイント】

・埋め戻しを行う前に、施工が適確に実施されているかどうか確認を行う。
など

発生日時	平成 26 年 5 月 27 日 (火) 11 時 10 分			
工事情報	河川系事務所 車両管理業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	第三者車両損傷
事故概要	車両管理業務の車両が河川区域内の駐車スペースで方向転換をするため、車両を後退させたところ、後ろに停車していた第三者の車両のフロントバンパーにあたり損傷させたもの。 公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損傷			

事故発生状況



・車両管理業務の車両が河川区域内の駐車スペースで方向転換をするため、車両を後退させたところ、後ろに停車していた第三者の車両のフロントバンパーにあたり損傷させた。

・人身被害はなかった。

【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足
など

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底
・周辺確認の徹底
など